

歴史まちづくり講演会を開催
小峰城の復興と歴史まちづくりを考える

12月4日、市立図書館（道場小路）で「歴史まちづくり講演会」が開催されました。これは、東日本大震災で甚大な被害を受けた小峰城跡や歴史的建造物の復興と、今後の歴史まちづくりについて考えようと開催されたもので、東北工業大学の高橋恒夫教授と東北芸術工科大学の北野博司准教授が講演を行いました。来場者は、貴重な歴史資源である小峰城跡や歴史的建造物の価値を再認識し、歴史まちづくりについての理解を深めました。



▲約200人が参加した講演会の様子

成人式実行委員会
思い出に残る成人式を目指し奮闘

1月8日に行われる成人式に向けて、各地域の実行委員会が活動しています。委員は新成人の代表たちで構成され、夏から会議を重ね、アイデアを出し合い準備を進めてきました。その結果、地域別の催しとして、地元企業協賛品の抽選会（白河）、新成人の手書きメッセージ（表郷・大信・東）、思い出のスライドショー（白河・東）などが行われる予定です。思い出に残る成人式になるよう、各地域の委員とも一丸となって奮闘しています。



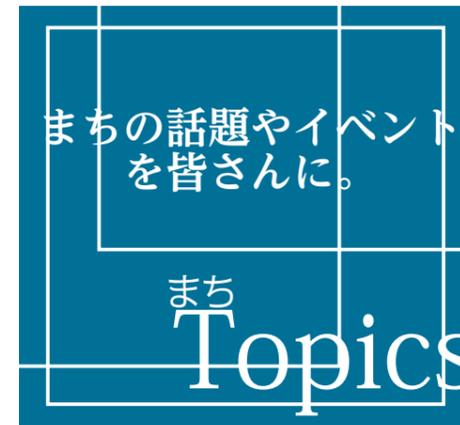
▲成人式について話し合う実行委員（大信地域）

農産物ブランド認証書交付式
「きつね米」と「りんご飴」を認証

10月27日、市役所で「白河市農産物ブランド認証書交付式」が行われ、新たに2つの産品が認証されました。昨年からはじめたこの農産物ブランド認証制度では、これまで9品目が認証を受け、今回、白河ベジファーマーズの「きつね米」と北條農園の「りんご飴」が加わり、白河ブランドの認証は11品目となりました。認証産品は「白河市農産物ブランドマーク」を付けて販売されます。



▲農産物ブランド認定書交付式の様子（左上はブランドマーク）



市長杯健康ま〜じゃん大会を開催
健康の促進と幅広い世代での交流に一役

11月27日、市立図書館（道場小路）で「市長杯健康ま〜じゃん大会」が開催され、52人の参加者が明るい雰囲気の中で麻雀を楽しみました。この大会は、中心市街地の空き店舗を活用してまちなかにオープンした「健康ま〜じゃん」の利用促進と、市民間の交流の場を提供する目的で開催されたものです。雀健は「お酒を飲まない・お金を賭けない・たばこを吸わない」がモットーで、老若男女を問わず気軽に参加でき、幅広い世代での交流が図れます。また、麻雀は頭と指先を使うため、認知症予防にも効果があると言われ、高齢者の健康増進対策としても効果的です。今後は「健康ま〜じゃん」を普及するために、定期的に大会を開催する予定です。



▲決勝戦の様子

第17回中山義秀文学賞が決定
澤田瞳子さんの「孤鷹の天」が受賞

11月19日、市立図書館（道場小路）で「中山義秀文学賞公開選考会」が開催されました。多くの文学ファンが見守る中、作家の津本陽さん、竹田真砂子さん、安部龍太郎さん、文芸評論家の縄田一男さんの各委員による審査の結果、最終選考に残った3作品から澤田瞳子さんの「孤鷹の天」が受賞作に選ばれました。同文学賞の贈呈式および受賞記念講演会は1月21日に市立図書館（道場小路）で開催されます。



▲選考会の様子